

## 安全データシート



## 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
担当者 : 認証標準物質担当  
電話番号 : 029-861-4059                      ファックス番号 : 029-861-4009  
緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2022年3月31日

改正日 : 2022年7月14日

整理番号 : 5802001

化学品の名称 : 認証標準物質 NMIJ CRM 5802-a 熱膨張率測定用石英ガラス  
(Silica Glass for Thermal Expansivity Measurement)  
推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、押し棒式膨張計などの校正及び妥当性評価に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。  
本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 : 分類できない  
GHSラベル要素 : 分類できない  
注意喚起語 : -  
危険有害性情報 : -  
注意書き : [安全対策]  
取扱いの際は手の保護具を使用すること。  
破損しやすく破損面での切り傷、破片飛散の危険性があるため、落下などによる過度の衝撃が加わらないよう注意すること。  
[応急措置]  
飲み込んだ場合：大量の水を飲ませ、吐かせる。医師に連絡する。  
[保管]  
室温 23 °C ± 10 °C、相対湿度 50 % 以下での保存を推奨する。  
[廃棄]  
関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。  
都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

その他の有害性情報 : 上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。  
飲み込んだ場合有害である。眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。  
長期暴露により不快感、吐き気、頭痛などの症状を起こすことがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 石英ガラス
成分	溶融石英
別名	: 石英ガラス、二酸化けい素
CAS 番号	: 60676-86-0
含有量	: 99 %以上
化学式又は構造式	: SiO <sub>2</sub>
分子量	: -
官報公示整理番号 (化審法)	: 1-548
官報公示整理番号 (安衛法)	: 既存

#### 4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 大量の水を飲ませ、吐かせる。医師に連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	: 通常の手扱いは、危険性は低い。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 不燃物であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	: 特になし。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 漏出した製品は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 粉じんなどが発生する場合、内作業場における取扱いでは、局所排気

(局所排気・全体換気等)	装置を使用する。 容器の転倒、落下、引きずり又は衝撃を与え等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。 使用後は容器を密閉する。
安全取扱注意事項	: 粉じんを発生させないようにする。
衛生対策	: 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。 指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。
保管	
安全な保管条件	: 直射日光、空気との接触を避け、室温 23 °C ± 10 °C、相対湿度 50 % 以下で保存することを推奨する。
安全な容器包装材料	: プラスチック容器

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度(物質名)	
ACGIH TLV-TWA	: TWA 0.1 mg/m <sup>3</sup>
日本産業衛生学会勧告値	: 設定されていない。
OSHA PEL TWA	: 8H TWA 10 mg/m <sup>3</sup> (% resp SiO <sub>2</sub> )
設備対策	
換気・排気	: 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
安全管理・ガスの検知	: -
貯蔵上の注意	: -
保護具	
呼吸用保護具	: 粉塵が発生する場合、防塵マスクを使用する。
手の保護具	: 保護手袋
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

・物理状態	: 6.35 mm × 3.65 mm × 30 mm の角柱形状の固体
・色	: 無色透明
・臭い	: 無臭
・融点/凝固点	: 1 610 °C
・沸点又は初留点及び沸点範囲	: 2 503 °C (760 mmHg)

・可燃性	: データなし
・爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
・引火点	: 不燃性
・自然発火点	: データなし
・pH	: データなし
・動粘性率	: データなし
・溶解度	: データなし
・n-オクタノール/水分配係数	: データなし
・蒸気圧	: 0 mmHg(20 °C)
・密度及び/又は相対密度	: データなし
・相対ガス密度	: データなし
・粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応する。 強酸、ふっ化水素、高温りん酸及び高温アルカリ溶液と反応する。
避けるべき条件	: 日光、熱、湿気
混触危険物質	: 強酸、ふっ化水素、高温りん酸及び高温アルカリ溶液。
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 ラット LD <sub>50</sub> 3160 mg/kg 腹腔内 ラット LDLo 50 mg/kg 静脈内 ラット LD <sub>50</sub> 15 mg/kg 気管内 ラット LDLo 10 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性(変異原性)	: データなし
発がん性	: IARC グループ3 (ヒトに対する発がん性については分類できない)
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中への移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連番号	: 該当なし
品名	: -
国連分類	: -
容器等級	: -

#### 国内規制

陸上輸送	: 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う
海上輸送	: 船舶安全法、港則法に従う
航空輸送	: 航空法に従う

### 15. 適用法令

適用法令なし

### 16. その他の情報

#### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。